

ご参加実績

本田技研工業 旭化成グループ 日立製作所グループ 三井不動産 カシオ計算機 東京大学	日産自動車 東芝グループ アサヒビール 伊藤忠グループ 横河電機 東レ	マツダ NECグループ キリン NTTグループ YKK 京成電鉄	SUBARU 富士通グループ キューピー 東日本旅客鉄道 第一生命保険 ポッカサッポロフード&ビバレッジ	三菱自動車工業 キャノングループ 味の素 日本通運 ポラ化成工業 他	ダイハツ工業 ソニーグループ 明治 成田国際空港 ホンダファイナンス *社名順不同
---	--	---	---	---	--

対象

若手社員層
入社3年目以降の20代が目安です（入社3年目～6年目くらいがボリュームゾーン）。職種は問いません。

日程

1泊2日（木・金） 宿泊型研修

	日程	会場
第1回	10月 7日（木）～ 8日（金）	首都圏開催（調整中）
第2回	11月 25日（木）～ 26日（金）	首都圏開催（調整中）
第3回	12月 9日（木）～ 10日（金）	首都圏開催（調整中）

予定会場

富士電機能力開発センター
〒191-8502 東京都日野市富士町1番地
TEL:042-585-6334
JR中央線「豊田駅」下車 徒歩約5分

東芝研修センター
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町555
TEL:045-475-8270
JR東海道線「新横浜駅」下車 徒歩約15分

マイステイズ新浦安
〒297-0014 千葉県浦安市明海2-1-4
TEL:047-709-1600
JR京葉線・武蔵野線「新浦安」駅下車 徒歩約13分

2021 若手社員交流研修

次世代リーダーへのセルフイノベーション

BEAM CONSULTING GROUP



オンライン代替開催について

新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて同日程での「オンライン開催」に切り替えて実施する場合がございます。

- 東京をはじめとした首都圏・大都市圏での緊急事態宣言（もしくは政府・自治体による移動・外出制限等の要請）が解除されていて、且つご参加予定の複数の企業様が県境を越えた移動を解除し、研修施設への来場が可能になっている状況であれば、実施時に必要とされる感染防止対策を講じて、「1泊2日」の集合型研修として実施致します。 ※感染防止策の詳細は別紙をご参照ください。
- 上記の条件が満たされない場合は、代替として同日程（2日間開催）の「オンライン開催」に切り替えて実施致します。 ※配信にはZoomを使用します。

オンライン代替開催への切り替えの判断時期について：原則、開催約1.5か月前までに判断致します。

- 新型コロナウイルスの感染スピードを考慮し、開催直前で急速に状況が悪化した場合、1.5か月前を切ったからのオンライン代替開催への変更判断もあり得ます。その場合は、開催日程を変更する可能性もございます。

オンライン代替開催となった場合のキャンセル（再エントリー）について

- オンライン代替開催となった際、ご参加をキャンセルされる場合はお申し付けください。 ※キャンセル料は発生致しません。
- また当初の予定通りオンライン代替開催にご参加頂ける場合には、事前にご教示頂きたい追加の受講者情報がございましたので、ご対応をお願い致します。



ビーム・コンサルティンググループ株式会社
〒160-0005 東京都新宿区愛住町22 オカビル
TEL 03(3354)2721 FAX 050(3737)1957
guest@beamcons.co.jp http://www.beamcons.co.jp

研修テーマと期待する成果

研修テーマ

「自ら発想して挑戦する」次世代リーダーを目指して

各社を取り巻く事業環境が大きく変わる中で、企業は従来にはない仕事のしかたやしぐみを模索し続けています。そのような変革期の渦中において、次の時代のリーダーとして期待される若手社員に求められる役割や能力、仕事への姿勢等も従来のそれとはまた変わってきているはずです。前例踏襲が通じない時代の潮流の中で、いわば海図無き航海の船員として、与えられた仕事をこなし成果を出すことに留まらず、自ら発想し（目標設定し）主体的に仕事に向き合う姿勢が今後益々問われることでしょう。またその目標達成のために、周囲を巻き込み、広い意味でのチームをコーディネートする力も問われるはずです。またそのような行動の推進力となる知的好奇心や何事にも挑戦し、諦めないマインドも欠くことのできない要素と言えるでしょう。この研修では、次世代リーダーとして同様の期待をされる同世代の他社の若手社員とともに「自ら発想して挑戦する次世代リーダー像」について議論し、その輪郭を描くことを通じて、以下のような成果を期待しています。

- 次世代リーダーとしての役割意識の醸成
- 次世代リーダーとしての自画像（ありたい姿）を描き、当面何に磨きをかけていくかを明確にする
- 他社の若手社員の持つ知恵や経験、仕事のしかた、姿勢等を知り、視野を広げるとともに、次世代リーダーとしての期待に応えるための具体的なヒントを得る
- 他社の若手社員との交流を通じて、他社を鏡に自身の強み・弱みを知る

受講者の声

異業種との交流そのものに対する評価

- ▶ 異業種の方々は全く異なる視点で私の仕事を見てくださるので会社では出ない新たな意見を頂くことができました。
- ▶ 営業はスピードが求められる中、技術職の方の考えを聞く事で、論理的に考えるヒントを見つけた気がします。
- ▶ 営業の方の話し方、身振り手振り、資料の作り方。先輩・部下を持つ方の人間関係の作り方。何よりも仕事に対する皆様の敬意、考え方、姿勢が参考になりました。
- ▶ 自分の弱いと思っていることが実は違っていたり、また逆もあり、自分を客観的に見つめ直すことができました。

「ありたい自分」を考える上での参考度

- ▶ あるべき姿の想像が具現化できた。将来のありたい姿に向けて何をすべきかということを明確にすることができた。
- ▶ 人に伝えること、自分で声に出すことで、まだまだビジョンがはっきりしていない所が浮き彫りになりました。まず取り組むべきものがはっきりしました。
- ▶ しっかりと自分の、あるべき姿、目指すべき姿に向かって「いつまでに、どうやって、誰と、どこまで」を整理できた。定期的に自分の立ち位置を把握し、考えるクセがつききっかけになる。

プログラムに関する評価

- ▶ 適度に参加者に運営を任せられており、講義との時間のバランスが良かった。
- ▶ 必要最低限の情報で、あとは各グループで考えさせていたので非常に考えさせられた。情報も過不足なく目的が分かりやすかった。
- ▶ 自分のことを順を追って深掘りできたので学びやすかった。

タイムテーブル

日	時間	内容
第1日	9:30	【集合】 【オープニングオリエンテーション】 事務連絡、趣旨説明、自己紹介
	10:30	【導入フェーズ】 相互理解のフェーズ 《環境変化と各社の取り組みを共有》 事前ワークシートを活用した状況共有
	12:00	【昼食】
	12:50	【展開フェーズ】 創発のフェーズ テーマI《企画実習》 未来を見据えた事業スキーム（ビジネスモデル）を考える
	16:00	討議結果の発表
	17:40	《相互チェック》 自己分析・他社分析 ～ 相互フィードバック
	19:30 20:30	【夕食】【第1日終了・チェックイン】 【意見交換会】～21:30（最長～22:30）
第2日	8:30	【朝食】【チェックアウト】 テーマII《次世代リーダーに問われる要件を考える》 次世代リーダー像の輪郭を描く
	9:30 10:00	【集約フェーズ】 《次世代リーダーとしての明日を描く》 先を見据えて、どのようなリーダーになりたいか？そのために当面何に磨きをかけていくべきか？を考える。 Myテーマシート作成 トライアングルインタビュー
	12:00	【昼食】
	12:50 14:00 16:00	トライアングルインタビュー（続き） Myテーマの発表と相互フィードバック 明日からの行動宣言
	16:40	【クロージング】 《クロージング&アンケート記入》
	17:00	【解散】

研修フロー

